

東海農政局業務説明会

～手にとって さとの恵み～

東海農政局

農林水産省
東海農政局

目次

1. 農林水産省ってどんなところ？	…………… P.3
2. 農林水産業の課題	…………… P.7
3. 農林水産省の政策	…………… P.15
4. 東海農政局ってどんなところ？	…………… P.22
5. 採用について	…………… P.26
6. 研修・支援制度について	…………… P.29
7. 若手職員からのメッセージ	…………… P.32

1. 農林水産省ってどんなところ？

VISION STATEMENT

ビジョン・ステートメント

わたしたち農林水産省は、

いのち
生命を支える「食」と安心して暮らせる「環境」を

未来の子どもたちに継承していくことを使命として、

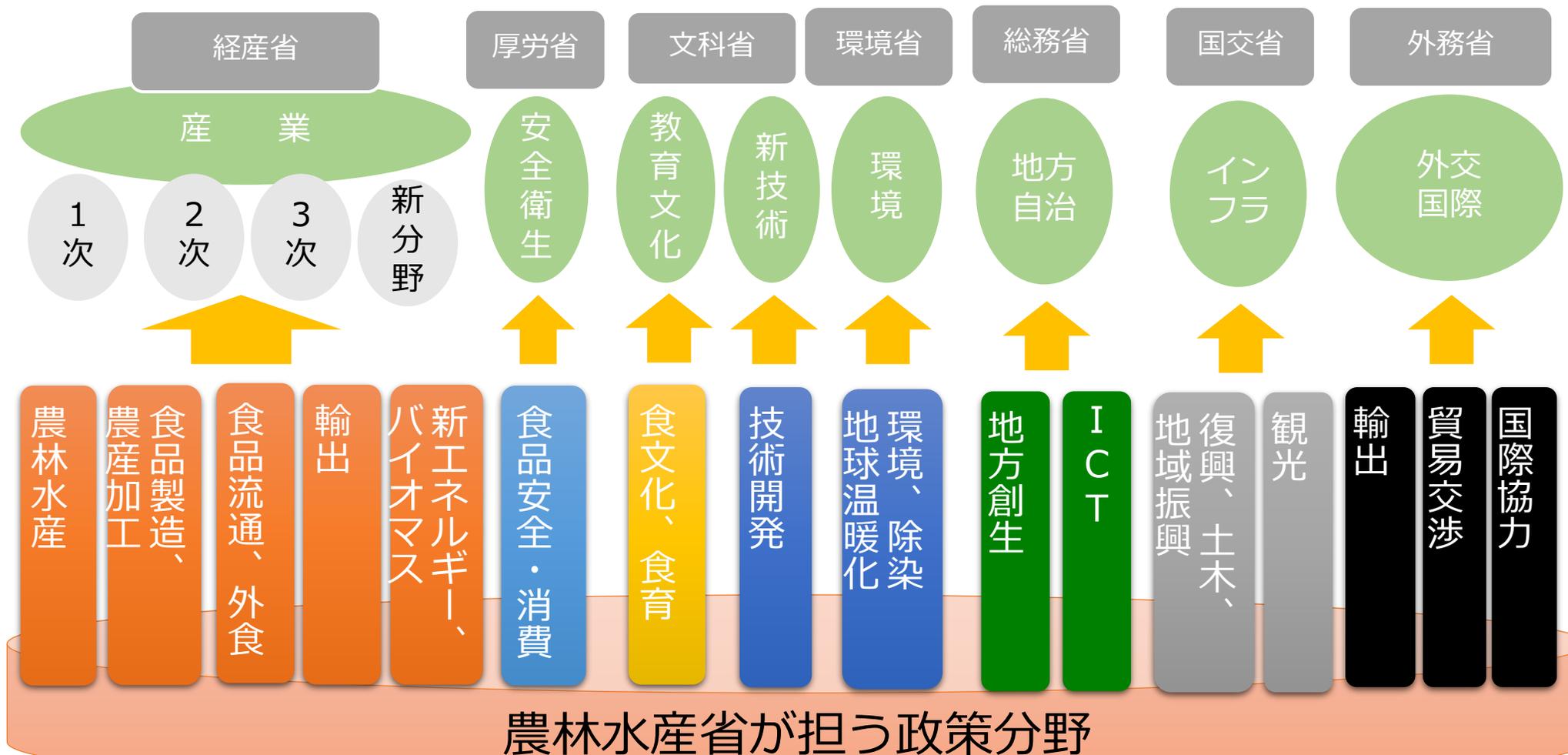
常に国民の期待を正面から受けとめ

時代の変化を見通して政策を提案し、

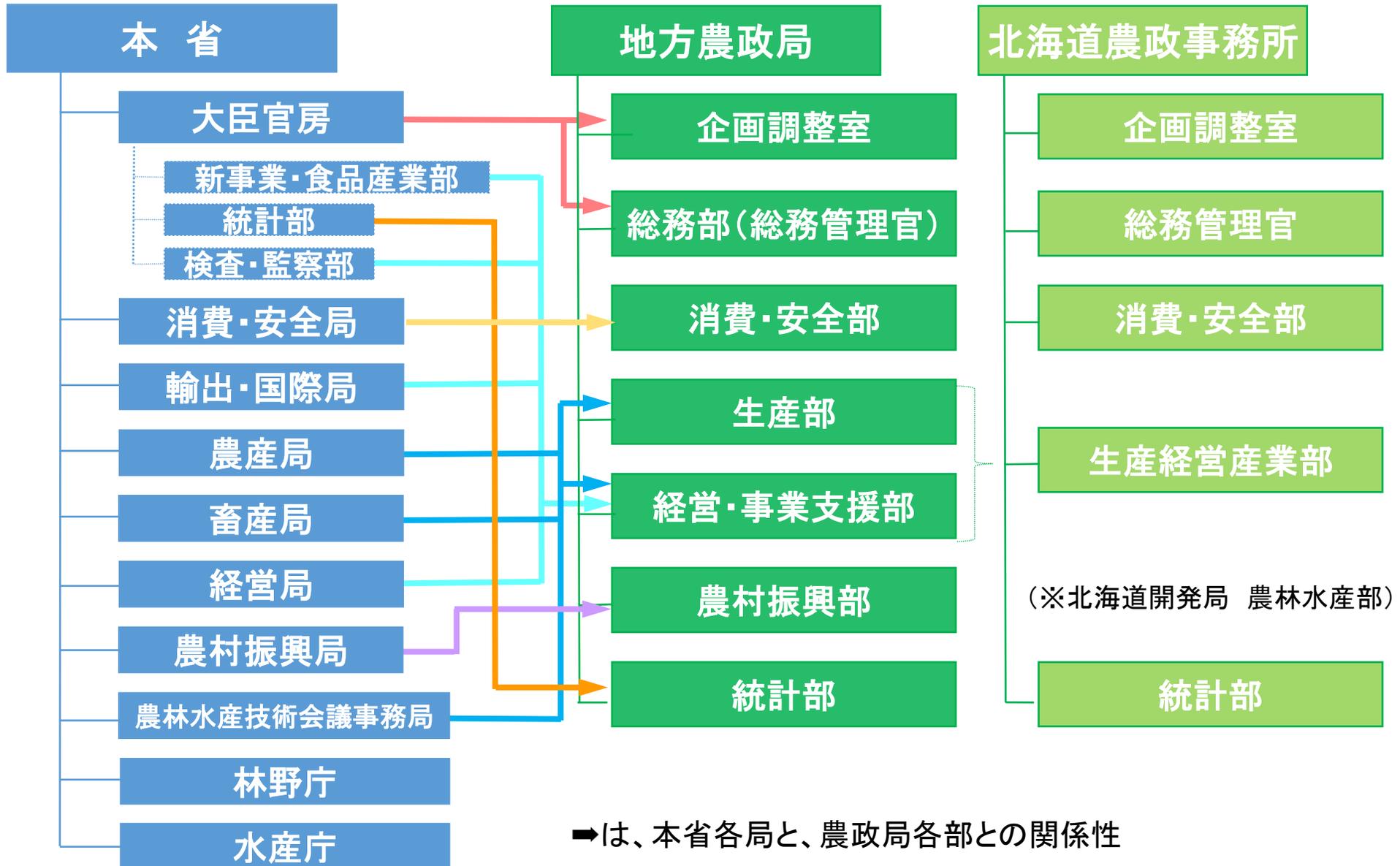
その実現に向けて全力で行動します。

農林水産省が担う政策分野

▼農林水産省は、「食」を中心に、産業政策、地域振興、インフラ、文化、外交等の幅広い政策分野を総合的に担うため、「総合政策官庁」と呼ばれる。



農林水産本省(東京)と地方農政局等の組織



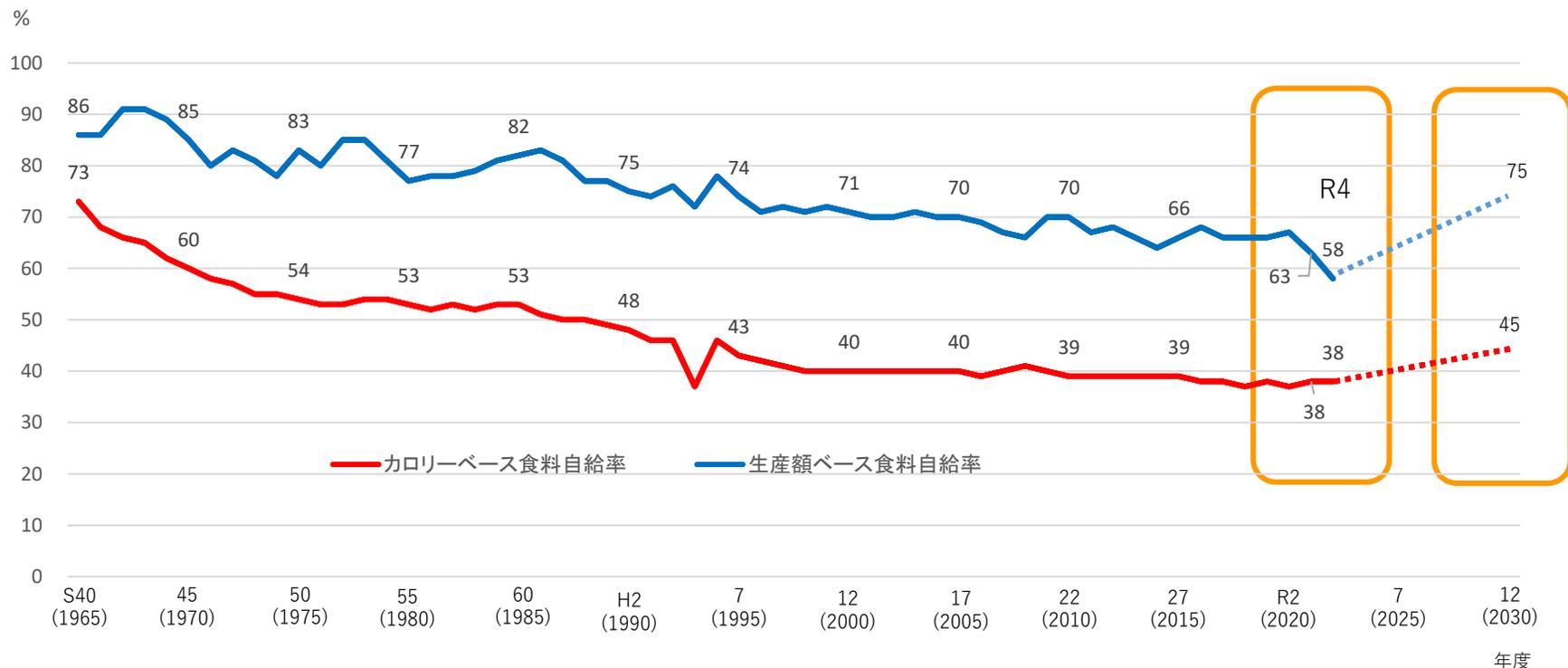
※北海道の農村振興関係の地方組織は、北海道農政事務所ではなく「北海道開発局(国土交通省所管) 農林水産部」となります

2. 農林水産業の課題

食料自給率の推移

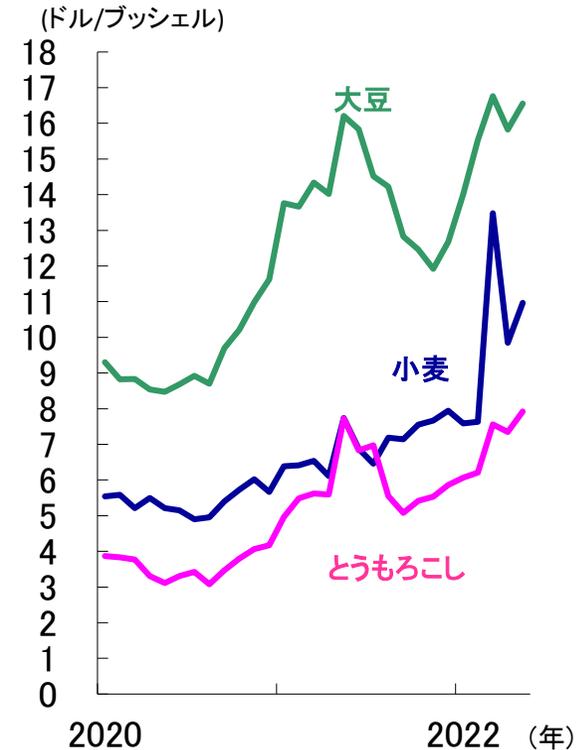
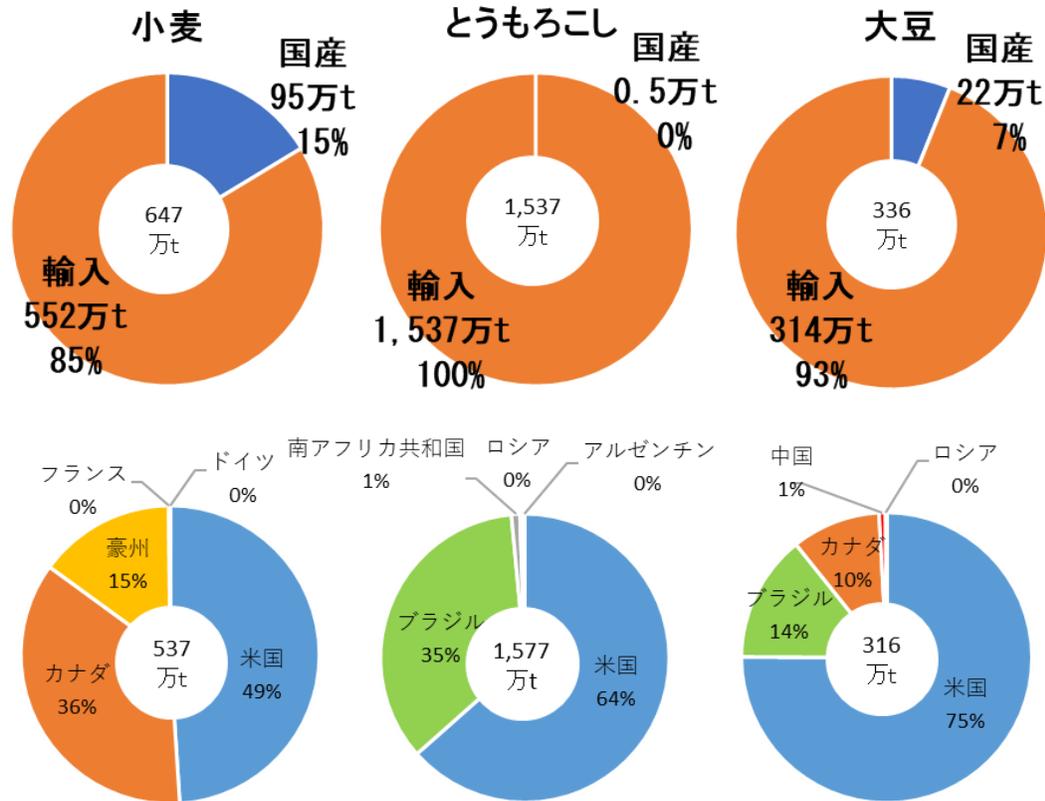
▼日本の食料自給率は長期的に低下傾向。カロリーベースでは近年横ばい傾向。

▼国民に対する食料の安定的な供給について、世界の食料需給等に不安定な要素が存在することを考慮し、**国内の農業生産の増大を図ることを基本**として、輸入及び備蓄も適切に組み合わせて確保することが必要。



輸入に頼りすぎるリスク

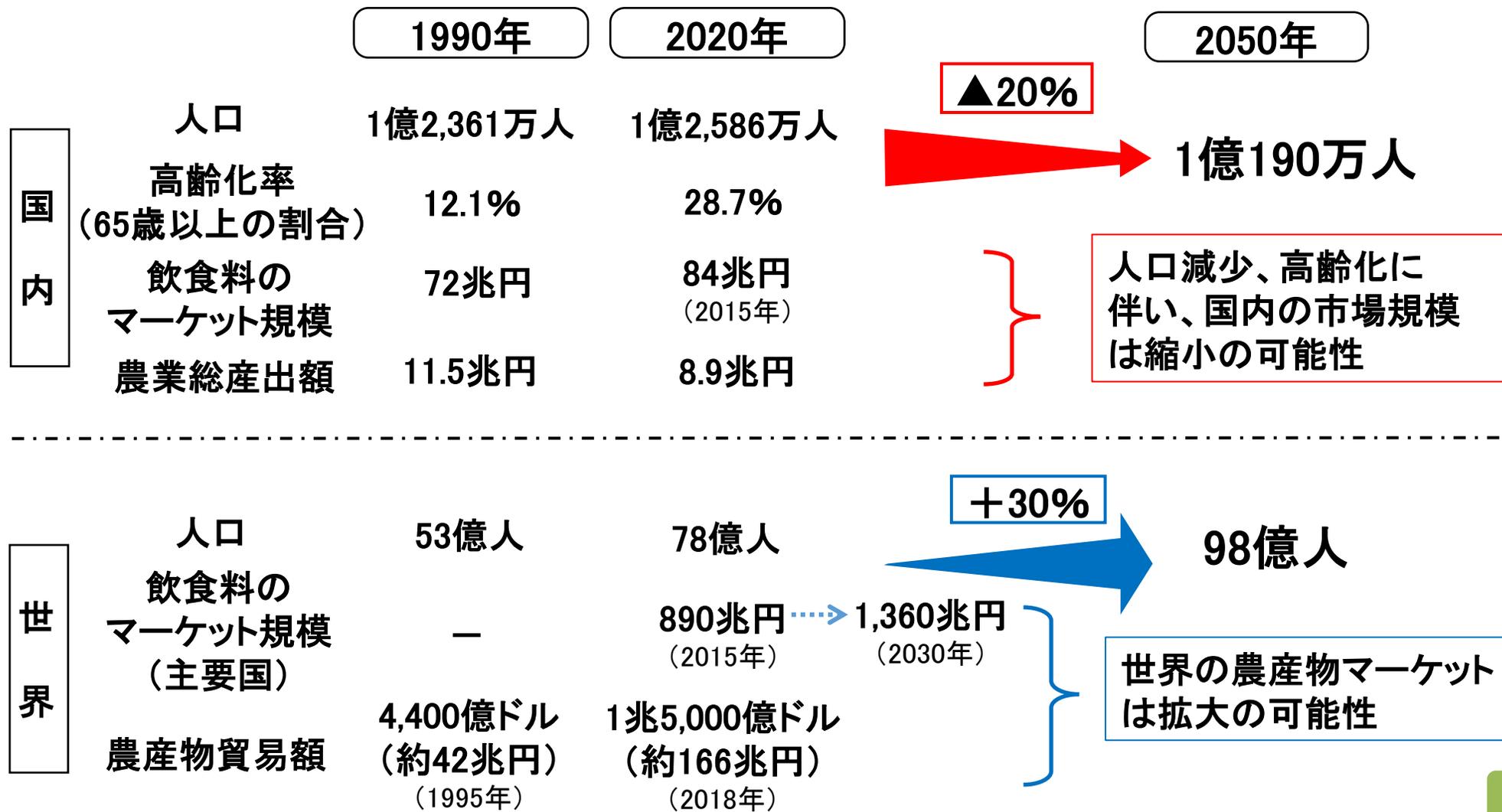
▼米以外の穀物は大きく**輸入に依存**。一方で、**気候変動**や**新興国の輸入需要の増加（食料争奪戦）**、**ウクライナ情勢等により、相場は高騰**。



注1：主な用途は、小麦は食糧用、とうもろこしは飼料用、大豆は油糧用である。
 注2：国内消費は、農林水産省「食料需給表」（令和2年度）、国産とうもろこし（飼料用のみ）の値は農林水産省調べ（令和2年産）。輸入内訳は、財務省「貿易統計」（2020年）を基に農林水産省にて作成。
 注3：小数点以下四捨五入のため、合計値が合わない場合がある。
 注4：単純化のため輸出、在庫は捨象し、国内消費=国内生産+輸入と仮定。
 注5：国内消費における国産、輸入については、食料自給率算定方法に従い、加工品も原料換算して含めた（例：ビスケットに含まれる小麦分を小麦としてカウント）値としている一方、輸入内訳については、加工品の原料分は含まない値である。

農政を取り巻く状況の変化

- ▼国内の市場規模は、人口減少や高齢化に伴い縮小し、日本の農林水産業に大きな影響。
- ▼世界の農産物マーケットは拡大する可能性あり。

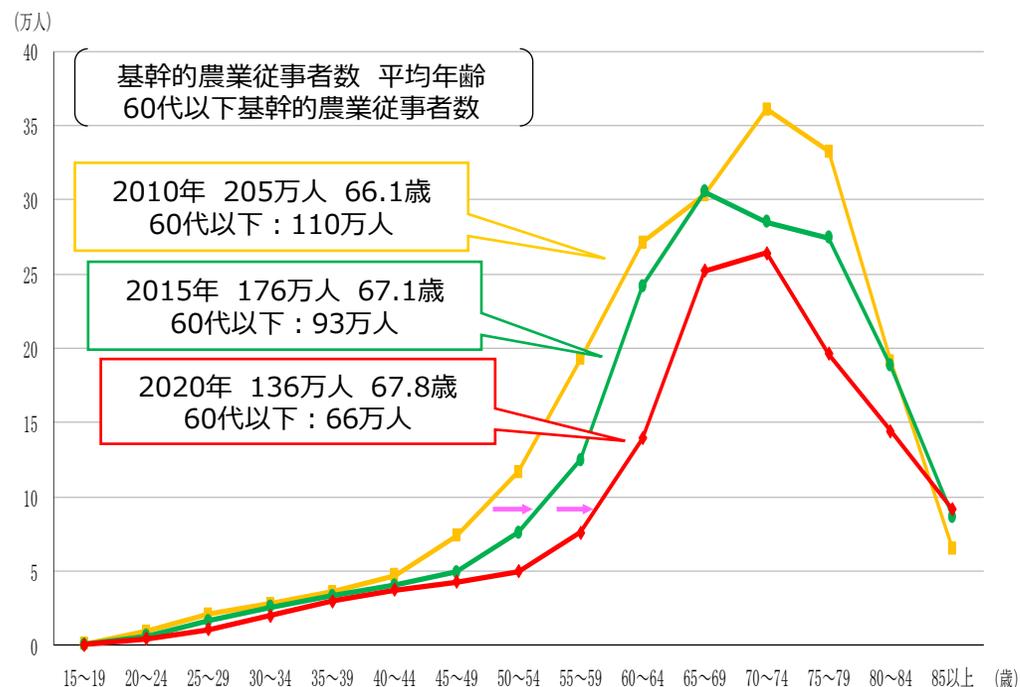


農業従事者の減少・高齢化

▼日本の農業を支える基幹的農業従事者は、**高齢化が進み、平均年齢は67.8歳。**

▼各国の農業従事者と比較しても、**高齢化は顕著。**

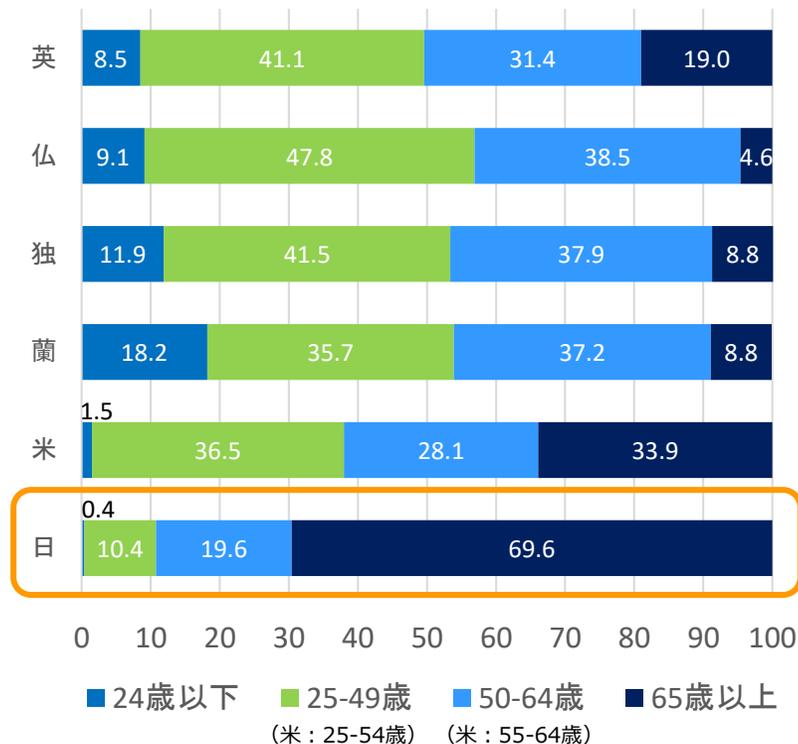
○基幹的農業従事者の年齢構成



基幹的農業従事者：ふだん仕事として主に自営農業に従事した者。（家事や育児が主体の主婦や学生等は含まない。）
 農業従事者：基幹的農業従事者及び雇用者（常雇い）

出典：農林水産省「農林業センサス」

○各国の農業従事者の年齢構成

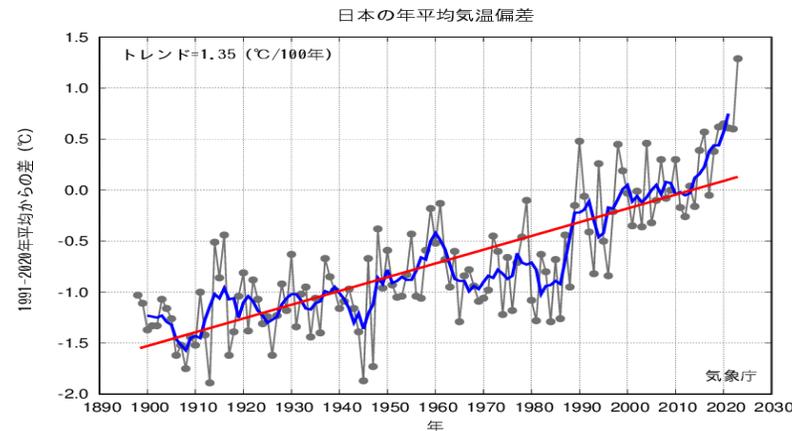


出典：

英は、EUROSTAT(2019)：農業に従事した世帯員
 仏独蘭は、EUROSTAT(2020)：農業に従事した世帯員
 米は、米国農務省「2017年農業センサス」：農業に従事した世帯員
 日は、農林水産省「農林業センサス」(令和2年)：基幹的農業従事者

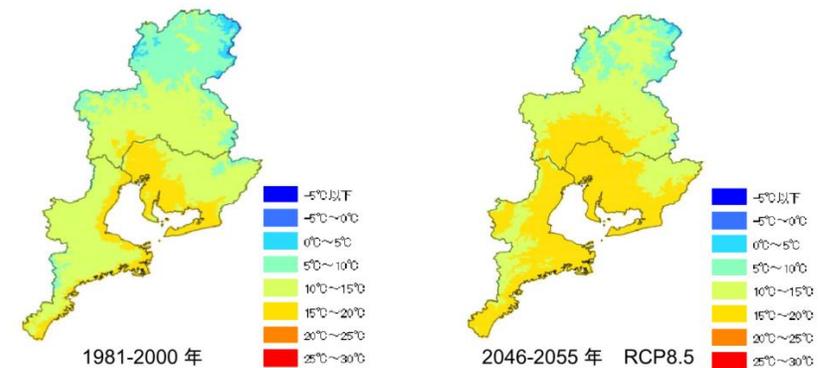
- ▼ 日本の年平均気温は、100年あたり1.35℃の割合で上昇。
- ▼ 2023年夏（6～8月）及び2020年の年間の日本の平均気温は、統計開始以降最高に。
- ▼ 農林水産業は、気候変動の影響を受けやすく、高温による品質低下などが発生。

■ 日本の年平均気温偏差の経年変化



年平均気温は長期的に上昇しており、特に1990年以降、高温となる年が頻出
出展：気象庁 日本の年平均気温

■ 東海農政局管内3県の年平均気温と気候予測



2046～2055年の年平均気温は、1981～2000年と比較して上昇する予測

出展：農林水産省 令和5年地球温暖化影響調査レポート

■ 農業分野への気候変動の影響

- ・ 水稲：高温による品質の低下
- ・ トマト：高温による着花・着果不良
- ・ きく：高温等による奇形花の発生等



白未熟粒(左)と正常粒(右)の断面



着果不良となった花



奇形花（輪ぎくの扁平化）

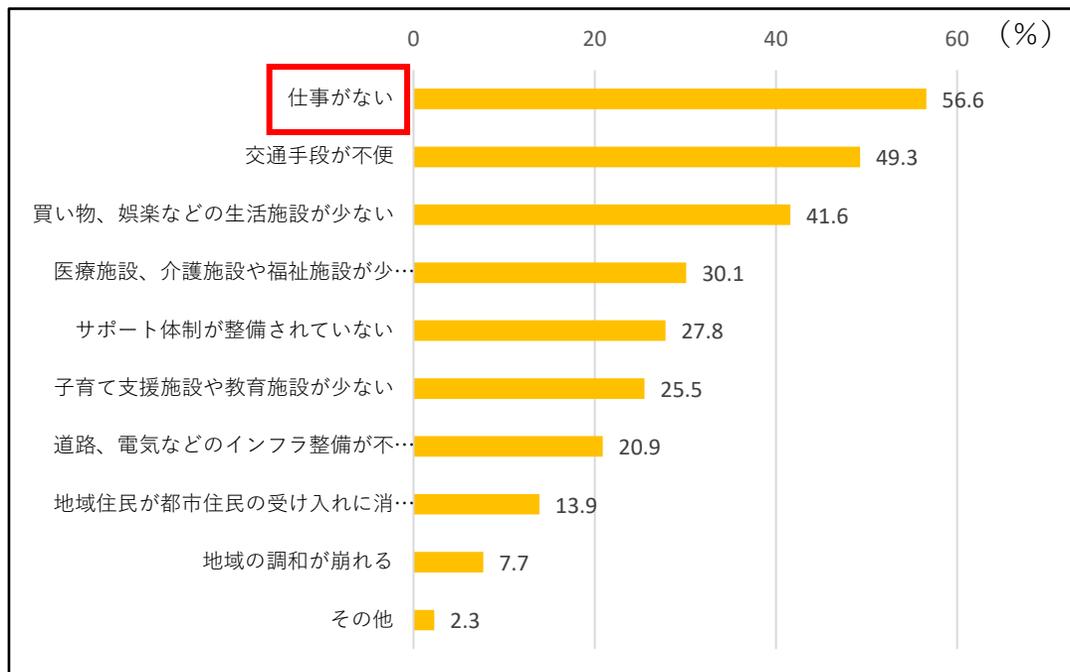


高温による着色不良

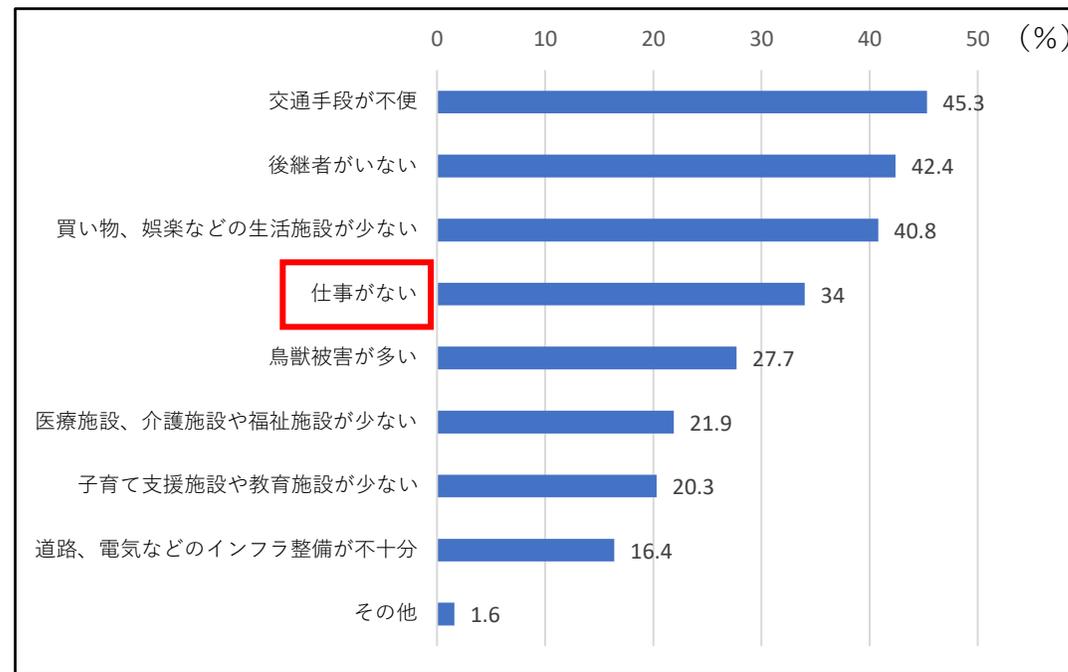
出展：農林水産省 令和5年地球温暖化影響調査レポート

- ▼ 都市住民の農山漁村地域への移住願望の有無は「ない（「どちらかというとな
い」を含む）」とする者が約7割を占める。
- ▼ 農山漁村地域での生活で困るのは「**仕事がない**」こと。

（農山漁村地域住民に対し）都市住民が農山漁村地域に定住する際の問題点は何か。

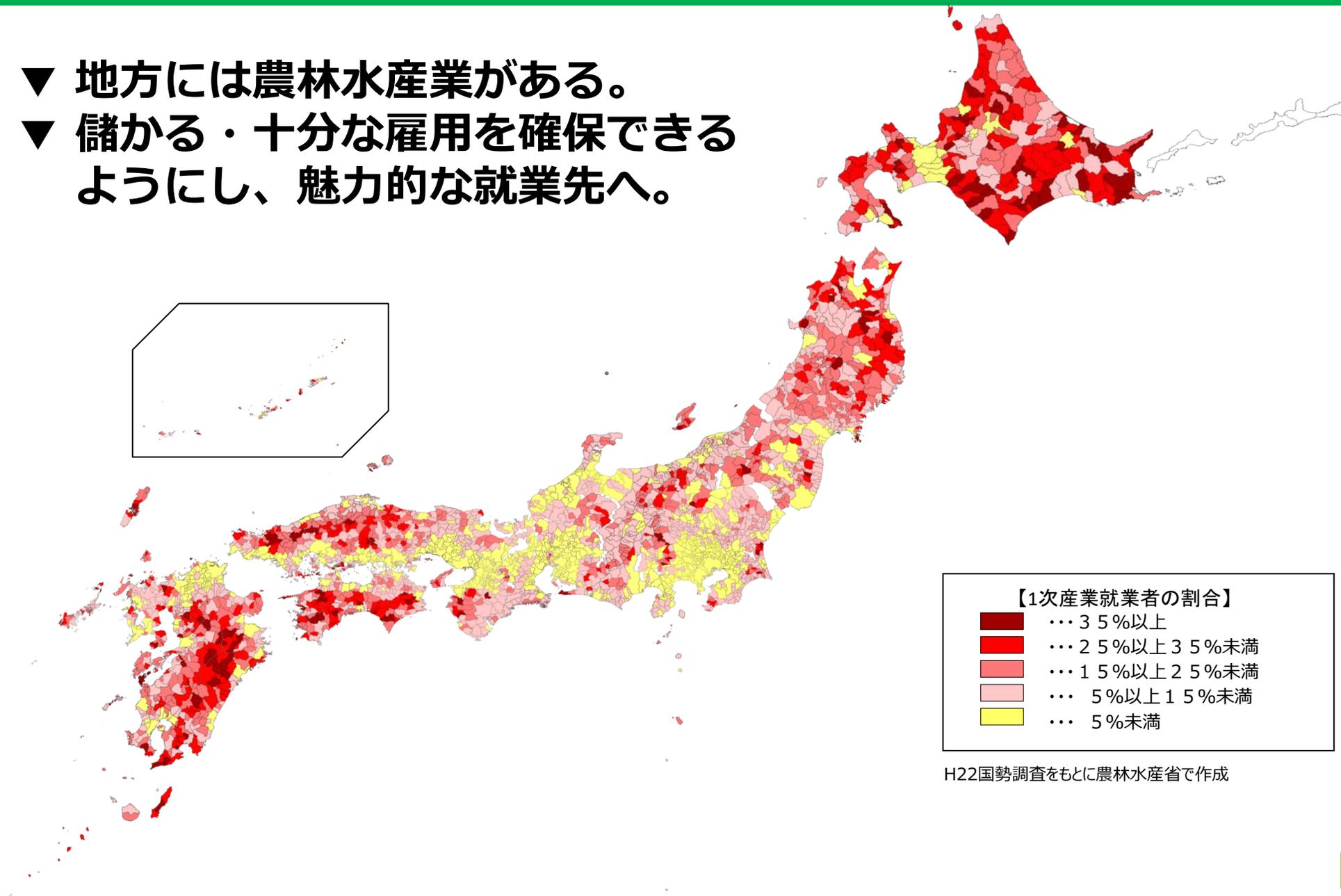


（農山漁村地域住民に対し）農山漁村地域での生活で困っていることは何か。



※資料：令和3年6月農山漁村に関する世論調査（内閣府）
※それぞれ複数回答可、総回答者数611人

- ▼ 地方には農林水産業がある。
- ▼ 儲かる・十分な雇用を確保できるようにし、魅力的な就業先へ。



3. 農林水産省の政策

▼ 新しい資本主義の下、食料安全保障の強化と安定供給に向けた取組の推進。

食料安全保障強化のための重点対策

1 食料安全保障の強化に向けた構造転換の実現

(1) 食料生産に不可欠な肥料、飼料等を、国内資源の活用等へ大きく転換

- 堆肥・下水汚泥資源の肥料利用拡大、堆肥等の広域流通、肥料原料の備蓄等により、肥料の国産化や安定供給を確保するための対策の実施
- 耕畜連携による国産飼料の供給・利用拡大、養殖飼料（魚粉）の国産化の推進
- 園芸から酪農畜産、林業、水産業まで、幅広く省エネ技術の導入加速化等

(2) 安定的な輸入と適切な備蓄と組み合わせながら、過度な海外依存からの脱却

- 水田を畑地化し、麦・大豆等の本作化の促進
- 輸入小麦に代わって、国内生産が可能な米粉の生産・利用の拡大支援
- 食品事業者における国産切替えなどの原材料の調達安定化の推進等

2 生産資材等の価格高騰等による影響の緩和

(1) 農林水産業の経営への影響の緩和

- 肥料、配合飼料、燃料の高騰へ対応
- 日本政策金融公庫による資金繰り支援

(2) 適正な価格形成と国民理解の醸成

- 国民理解醸成に向け情報発信
- 食品ロス削減・フードバンクへの支援等

生産面の施策 (品目横断的施策)

国内外の需要の変化に対応した国内農業の生産基盤の強化

- 1. 担い手への農地集積・集約化の加速化
- 2. 放牧など多様な農地利用による農地保全

- 1. 担い手の育成・確保
- 2. 中小・家族経営など多様な経営体による地域の下支えや農業支援サービスの定着

- 1. 加工・業務用需要への対応
- 2. 諸外国の規制やニーズに対応できるグローバル産地づくり

生産面の施策 (品目別施策)

小麦・大豆 国内産小麦・大豆の需要拡大に向けた品質向上と安定供給、耐病性・加工適性等に優れた新品種の開発導入の推進、団地化・ブロックローテーションの推進、排水対策の更なる強化やスマート農業の活用による生産性の向上

畜産物 性別判別技術や牛舎の空きスペースも活用した増頭推進、中小・家族経営も含めた生産性向上・規模拡大、繁殖雌牛などの増頭推進

野菜 水田を活用した新産地の形成や加工・業務用野菜の生産拡大、機械化一貫体系や環境制御技術の導入等を通じた生産性の向上、摂取量の拡大

果実 省力樹形や機械化作業体系の導入等を通じた労働生産性の向上、海外の規制・ニーズに対応した生産・出荷体制の構築

- ▼ 輸出額は令和3年（2021年）実績で初めて1兆円を突破。それ以降も伸び続けている。
- ▼ 2030年輸出額5兆円に向け、グローバル産地づくり、農林水産・食品事業者の海外展開支援等を推進。

GFP(日本の農林水産物・食品輸出プロジェクト)

あなたを、生産者の日本代表にしたい。

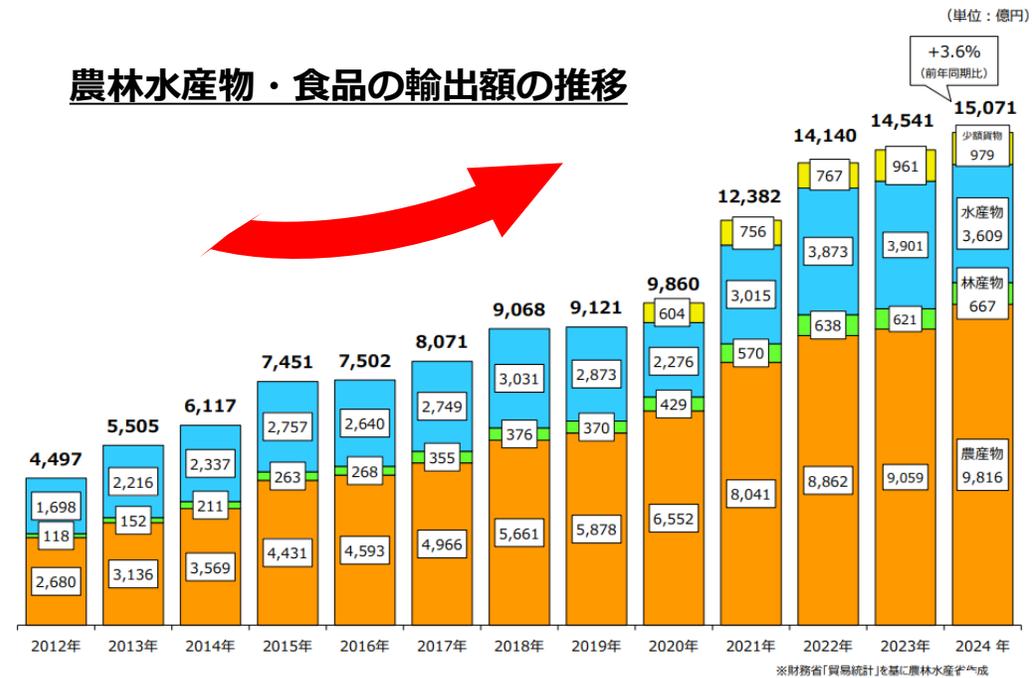


農林水産物 食品 輸出プロジェクト

1億人ではなく、100億人を見据えた農林水産業へ。

四季の豊かなこの国で、だれかを喜ばせたい一心で取り組む生産者のみなさんへ。海外各国からのニーズが大きくなっている今、みなさんと輸出の成功事例をつくっていきたい。このコミュニティにぜひ参加して第一歩を踏み出しませんか。農林水産省が全力でサポートします。

農林水産物・食品の輸出額の推移



輸出支援プラットフォーム

輸出先国・地域において輸出事業者を包括的・専門的・継続的に支援するため設立。在外公館、JETRO海外事務所、JFOODO海外駐在員が主な構成員。2022年4月の米国をはじめとして、EU、タイ等の10カ国・地域（16拠点）において立ち上げ済。



みどりの食料システム戦略（概要） ～食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現～

現状と今後の課題

- 生産者の減少・高齢化、地域コミュニティの衰退
- 温暖化、大規模自然災害
- コロナを契機としたサプライチェーン混乱、内食拡大
- SDGsや環境への対応強化
- 国際ルールメイキングへの参画



「Farm to Fork戦略」(20.5)
2030年までに化学農薬の使用及びリスクを50%減、有機農業を25%に拡大



「農業イノベーションアジェンダ」(20.2)
2050年までに農業生産量40%増加と環境フットプリント半減

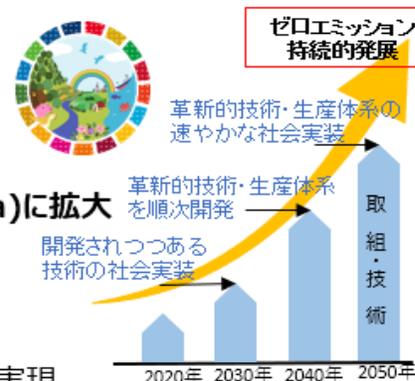
農林水産業や地域の将来も見据えた持続可能な食料システムの構築が急務

持続可能な食料システムの構築に向け、「みどりの食料システム戦略」を策定し、中長期的な観点から、調達、生産、加工・流通、消費の各段階の取組とカーボンニュートラル等の環境負荷軽減のイノベーションを推進

目指す姿と取組方向

2050年までに目指す姿

- 農林水産業のCO2ゼロエミッション化の実現
- 低リスク農業への転換、総合的な病害虫管理体系の確立・普及に加え、ネオニコチノイド系を含む従来の殺虫剤に代わる新規農薬等の開発により化学農薬の使用量（リスク換算）を50%低減
- 輸入原料や化石燃料を原料とした化学肥料の使用量を30%低減
- 耕地面積に占める有機農業の取組面積の割合を25%(100万ha)に拡大
- 2030年までに食品製造業の労働生産性を最低3割向上
- 2030年までに食品企業における持続可能性に配慮した輸入原材料調達の実現を目指す
- エリートツリー等を林業用苗木の9割以上に拡大
- ニホンウナギ、クロマグロ等の養殖において人工種苗比率100%を実現



戦略的な取組方向

2040年までに革新的な技術・生産体系を順次開発（技術開発目標）
2050年までに革新的な技術・生産体系の開発を踏まえ、今後、「政策手法のグリーン化」を推進し、その社会実装を実現（社会実装目標）
※政策手法のグリーン化：2030年までに施策の支援対象を持続可能な食料・農林水産業を行う者に集中。
2040年までに技術開発の状況を踏まえつつ、補助事業についてカーボンニュートラルに対応することを目指す。
補助金拡充、環境負荷軽減メニューの充実とセットでクロスコンプライアンス要件を充実。
※革新的技術・生産体系の社会実装や、持続可能な取組を後押しする観点から、その時点において必要な規制を見直し。地産地消費型エネルギーシステムの構築に向けて必要な規制を見直し。

期待される効果

経済

持続的な産業基盤の構築

- ・輸入から国内生産への転換（肥料・飼料・原料調達）
- ・国産品の評価向上による輸出拡大
- ・新技術を活かした多様な働き方、生産者のすそ野の拡大

社会

国民の豊かな食生活 地域の雇用・所得増大

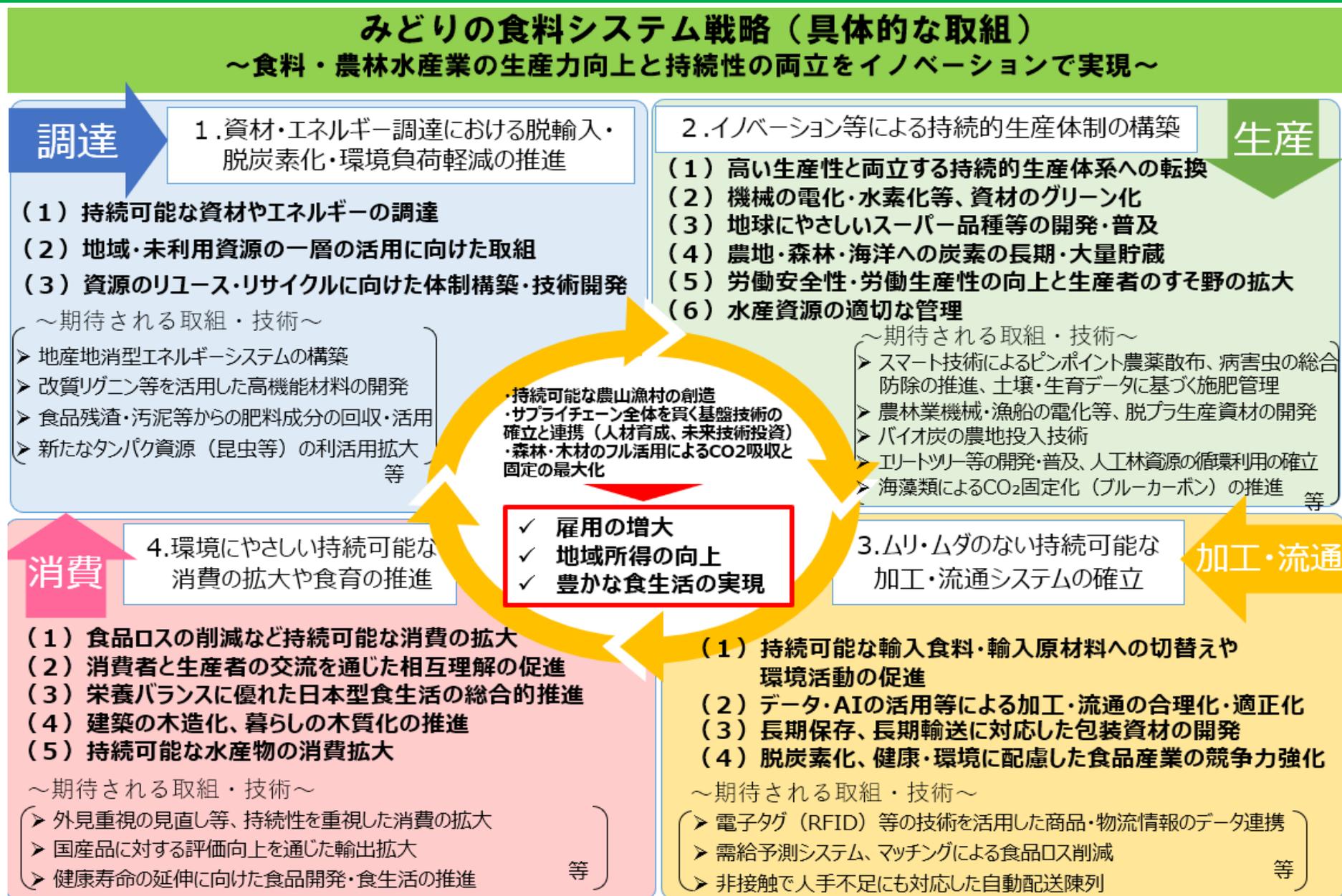
- ・生産者・消費者が連携した健康的な日本型食生活
- ・地域資源を活かした地域経済循環
- ・多様な人々が共生する地域社会

環境

将来にわたり安心して暮らせる地球環境の継承

- ・環境と調和した食料・農林水産業
- ・化石燃料からの切替によるカーボンニュートラルへの貢献
- ・化学農薬・化学肥料の抑制によるコスト低減

アジアモンスーン地域の持続的な食料システムのモデルとして打ち出し、国際ルールメイキングに参画（国連食料システムサミット（2021年9月）など）



▼ スマート農業：「ロボット、AI、IoTなど先端技術を活用する農業」

▼ 農業者の減少など、農業を取り巻く環境の変化に対応して農業の生産性の向上を図ったり、若者にとっても魅力ある農業を実現したりするために重要。

スマート農業の効果

① 作業の自動化

自動操舵の田植え機・トラクター、スマホで操作する水田の水管理システムなどの活用により、作業を省力化。少人数での作業、不慣れな人による操作、身体的負担の軽減などが可能に。

② 情報共有の簡易化

営農支援システムにより、全ほ場の作業記録や、全社員の勤怠状況を把握でき、作業計画作成や勤怠管理が容易に。

③ データの活用

ドローン・衛星によるデータのAI解析により、農作物の生育や病害虫を予測し、高度な農業経営が可能に。

水田の水管理システム



- ・ほ場を回る必要がなくなり負担が減少
- ・厳密な水管理ができ収量は増加

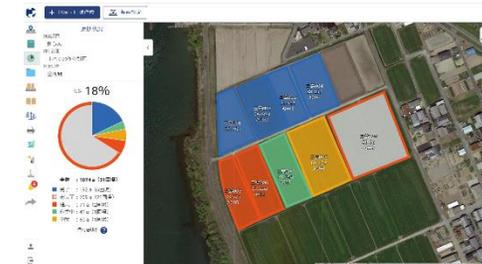
ドローンによる生育状況の把握



- ・ドローンのデータ等を活用し、生育や病害虫の発生状況に応じてピンポイントで農薬散布
→生産性の向上と農薬の削減を両立

出典：農林水産省「スマート農業をめぐる情勢（R6.11月版）」

営農管理システム

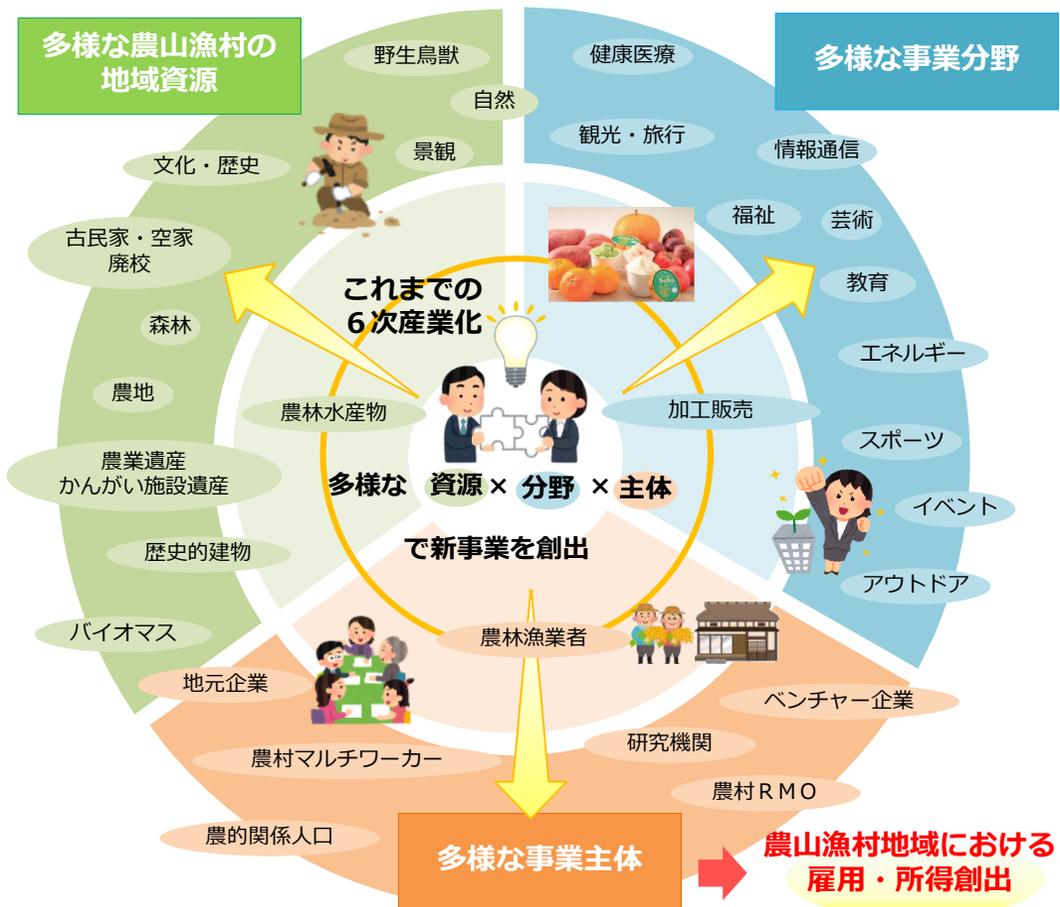


出典：(株)クボタ「KSAS」

- ・社員の作業日誌より作業ごとの進捗状況を把握
- ・離れたほ場で作業する職員の勤怠管理も容易に

地域資源活用価値創出対策による雇用・所得の創出

▼ 地域の活性化のため、農林漁業者や地元の企業等も含む多様な主体の参画により、新事業や付加価値を創出する支援（旧農山漁村発イノベーション対策）。



地域資源活用価値創出

- 農山漁村のあらゆる地域資源をフル活用した取組を支援
- 他産業起点の取組など他分野との連携を一層促進

例えば…

「農林水産物、自然、文化、景観」 × 「食品、観光・旅行、教育」 × 「協議会等」

「農林水産物」 × 「食品、健康・医療」 × 「農林漁業者、協議会、大学等」

「鶏卵」 × 「食品、旅行、イベント」 × 「農林漁業者、観光協会、観光事業者」

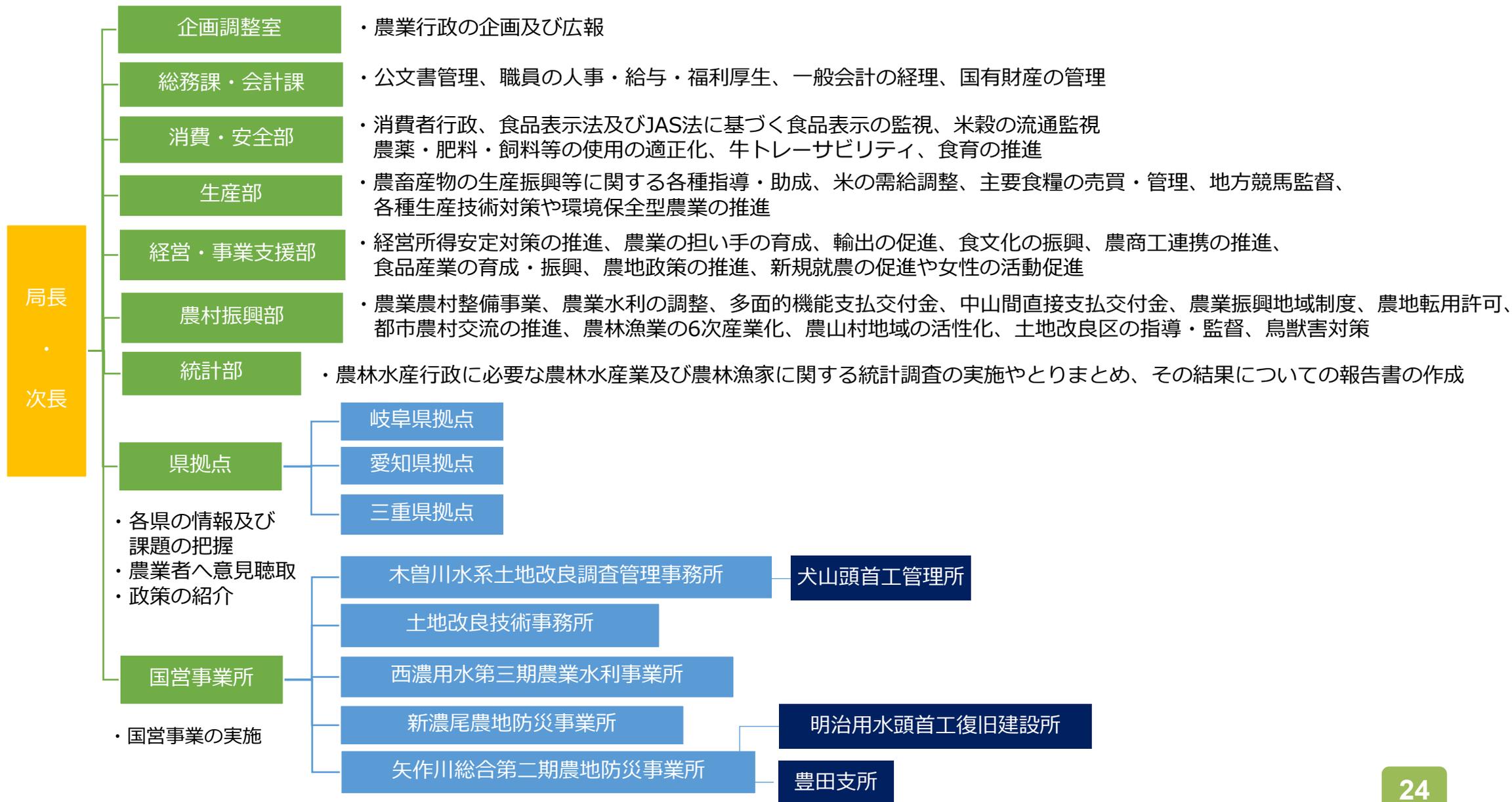
4. 東海農政局ってどんなところ？



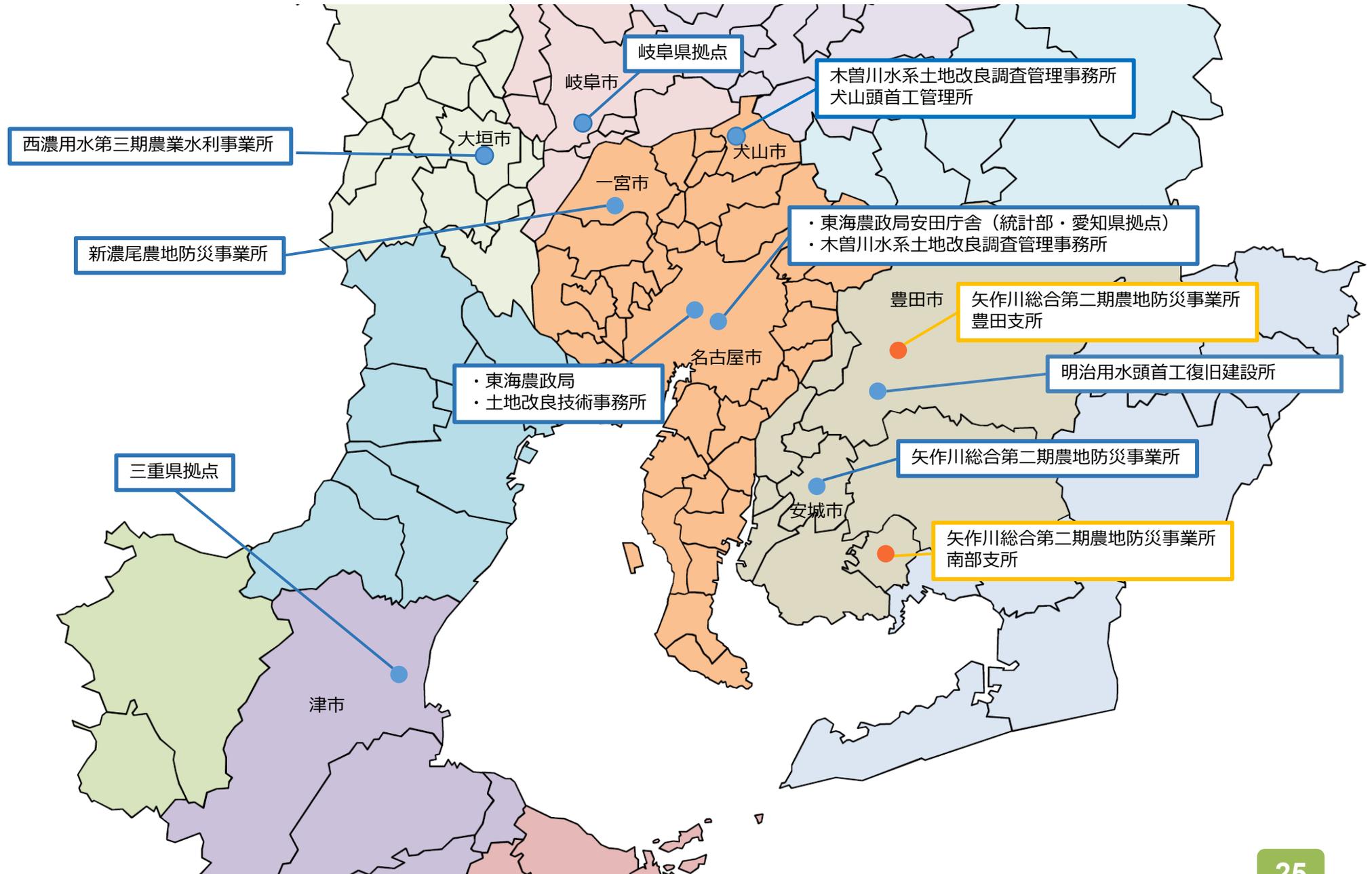
農林水産本省で企画・立案した政策を適切に実施し、
地方公共団体等との情報交換等を生産者や消費者に
より近い現場で実行する

地方農政局（全国7ヶ所：仙台市、さいたま市、金沢市、名古屋市、京都市、岡山市、熊本市）の1つが東海農政局です。岐阜・愛知・三重の3県を管轄しています。





東海農政局管内地図（令和7年4月1日現在）



5. 採用について

採用について(行政区分)

●過去の採用実績 (行政区分)



●求めている人材について

人物本位で採用を行っています！

- 農林水産業の諸課題への対応

主体性・積極性
- 多様な職種の方と関わります

協調性・柔軟性
- 法律・制度を理解し事務を処理

真面目さ

●採用後の配属先、勤務地や異動等

- ・採用後は東海農政局管内を中心におおむね2～3年毎に異動
- ・人材育成の一環として、入省3年目から2年間、農林水産本省での業務も経験
- ・様々な業務を経験をしながらキャリアアップを図る

農村振興行政系との比較

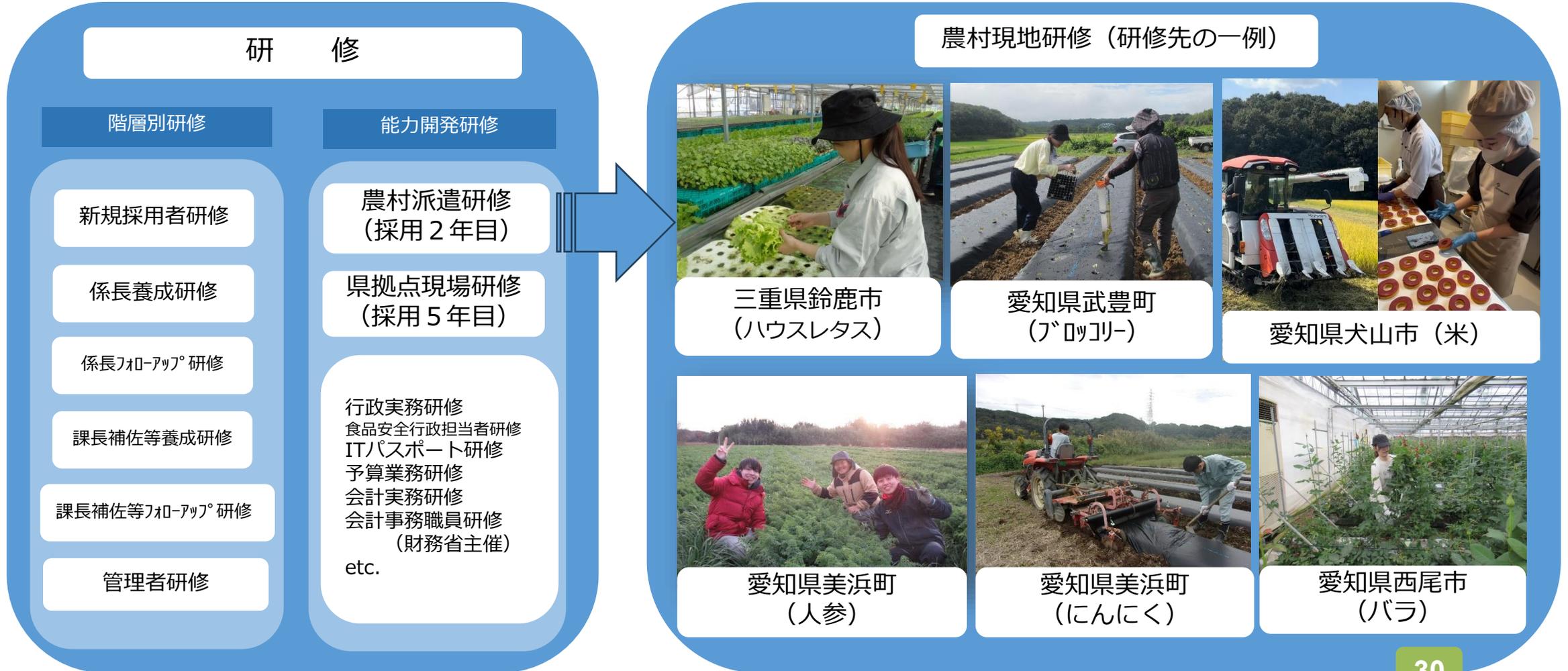
▼ご希望に応じ、行政の実施業務・内部管理業務を担当する行政系と、土地改良事業に必要な土地の借地や補償などの業務を担当する農村振興行政系のどちらかで採用。

	行政系	農村振興行政系
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> 農業政策全般の実施業務 行政の内部管理業務 (庶務、経理、福利厚生など) 	<ul style="list-style-type: none"> 用地補償業務 管理業務 会計業務 国営事業所等の業務 
主な勤務先	<ul style="list-style-type: none"> 東海農政局本局 各県拠点 	<ul style="list-style-type: none"> 東海農政局農村振興部各課 管内事業（務）所
	<p>本人の適正、希望等次第で農林水産本省や他の地方農政局への異動も可能！</p>	
行政系キャリアパスの一例	 <pre> graph LR A[局内係員] --> B[本省係員] B --> C[県拠点・事業所の係員・係長] C --> D[本局係長] D --> E[他局専門官] E --> F[本局課長補佐] F --> G[本省課長補佐] G --> H[本局課長] </pre>	

6. 研修・支援制度について

研修制度

▼農林水産省の研修は、係員、係長、課長補佐と役職段階に応じた階層別研修と、農村現地研修、会計実務研修、ITパスポート研修といった業務に必要な職員個々の能力の開発を目的とする能力開発研修があります。人事院や他省庁の研修も含め、**多くの研修は職員の希望により受講することが可能です。**



各種支援制度

詳細はこちら →



東海農政局

産前産後 休暇

- 6週間以内に出産する予定の場合、及び出産の翌日から8週間を経過するまでの期間で取得可能

育児時間

- 子が小学校就学の始期に達するまで、子を養育するために認められる短時間勤務

育児休業

- 子が3歳に達する日まで、子を養育するために認められる休業

介護休暇

- 配偶者、父母、子等で負傷、疾病又は老齢により2週間以上にわたり日常生活を営むことに支障がある者の介護をする場合に取得可能

男性職員 の育児参 加休暇

- 妻の出産予定日の6週間前の日から出産の日以後1年を経過する日まで5日以内で取得可能

早出遅出 出勤

- 育児・介護又は修学する職員が勤務時間帯をずらせる（早出又は遅出）制度

7. 若手職員からのメッセージ



東海農政局Webページにて若手職員からのメッセージを紹介しています！

若手職員からのメッセージ（1年目職員）

1. 担当している業務

女性農業者の活躍推進に関する事業を担当しています。

2. 東海農政局を志望した決め手は？

生きていくうえで欠かせない「食」の分野において、公務員として国民の生活に貢献できる点に魅力を感じたため志望しました。
また、説明会や面接にて職員の雰囲気よさに惹かれたことも決め手です。

3. 職場の雰囲気は？

職場の雰囲気は、入省前の想像どおりとても和やかだと感じています。優しく接してくれる方が多く、分からないことも周りの人に聞きやすいため、日々安心して働いています。ワークライフバランスの意識も高く、年次休暇や残業について上司から気遣ってくれることが多いため、私生活も充実させやすい環境です。

4. 就活中のみなさんへメッセージ

公務員試験対策においては、筆記はもちろん面接も重要です。志望先の情報収集を徹底的に行い、面接に慣れるため何度も模擬面接を行うとよいと思います。
また、東海農政局が行っている説明会や個別相談会への積極的な参加をおすすめします。情報収集になることはもちろん、採用後のイメージがつきやすくなります。
就活は長く険しい道のりですが、乗り越えれば自由な時間が待っています。無理しすぎず、体調に気を付けて頑張ってください。応援しています！



令和7年度入省職員
経営・事業支援部
経営支援課
女性活躍推進係

若手職員からのメッセージ（2年目職員）

1. 担当している業務

会計課の庶務・経理関係業務を担当しています。新たな業務を覚えられたときや、先輩職員から教わった業務を自力で行うことができるようになったときにやりがいを感じます。

2. 東海農政局を志望した決め手は？

職場を見学させてもらった際に、職員同士が協力し合いながら生き生きと働いている様子を目にし、この職場で働きたいと思ったことが決め手になりました。

3. 職場の雰囲気は？

職場の雰囲気はとてもよいです。入省前は、職場の人間関係に不安を感じていましたが、入省してみると優しい上司ばかりで、小さなことにも親身になって相談にのってもらえます。また、子育ての中のため勤務時間を短縮したり、予定や体調に応じてテレワークを活用したりと、柔軟な働き方をされている方が多くいます。

4. 受験生の皆さんへアドバイス

公務員試験では情報収集が大切ですので、説明会へ参加したり、友人と情報共有をしたりするとよいと思います。就活の中では、心が折れそうになることもあると思いますが、最後まであきらめず頑張ってください。最後までやり切れたことが自身につながると思います。皆さんと東海農政局でお会いできる日を楽しみにしています。



令和6年度入省職員
会計課
支出負担行為係

若手職員からのメッセージ（本省勤務中）

1. 担当している業務

医療費が高額になっている方に対し、法律で定められた限度額まで自己負担額を下げるための支払いの手続きや、病気で働けない人に給付する傷病手当金、育休を取得している人に給付する育児休業手当金等の短期給付に関する業務を行っています。

2. 本省勤務になってからの変化、印象に残っていること

特に印象的だったことは、仕事の規模感です。東海農政局勤務時は、管内3県（愛知県、岐阜県、三重県）との間で連絡調整を行っていましたが、本省勤務になってからは、班で全国にある所属所と調整を行っており、スケールの大きさを感じています。東海農政局勤務時と比べ、若い人が多いことも印象的です。

3. 学生時代にやっておくべきこと

学生時代は思いきり遊ぶとよいと思います。社会人になってからも休暇等に遊ぶことはできますが、学生時代の夏休みや春休みといった長期休暇は貴重です。長期休暇だからこそできることも多いため、好きなことをして思い出をたくさん作ってください。よい経験にもなると思います。

4. 就活中のみなさんへメッセージ

就活中、自分が何をしたいのかわからず悩むこともあると思います。そんな時は、さまざまな説明会に足を運んでみてください。きっと働きたいと感じる職場に出会えます。試験勉強や面接対策等を行う中では、辛いこともあるかと思いますが、納得いく道へ進めるよう最後まで頑張ってください！



令和4年度入省職員
大臣官房秘書課
共済給付班共済給付係

庁舎移転を予定しています

▶令和8（2026）年5月頃、新庁舎へ移転予定です。



新庁舎完成イメージ



位置図

- ・ 新住所：愛知県名古屋市中区三の丸2-6-2 名古屋第4地方合同庁舎（建設中）
- ・ 現住所：愛知県名古屋市中区三の丸1-2-2

ご清聴ありがとうございました。

☆何か分からないことがあれば、お気軽にお問い合わせください！

☆東海農政局の採用情報Webページは、適宜更新予定です！

問合せ先

担当	東海農政局総務課 人事第1係	といだ	この
電話番号	052-223-4613	樋田、	小野
メールアドレス	jinji_tokai@maff.go.jp		
Webページ	https://www.maff.go.jp/tokai/somu/jinji/recruit/index.html		

採用情報はこちらをチェック！



BUZZMAFFはこちらをチェック！



農水省職員がYouTuberに！？

登録者数15万人以上！

